ファームウェアの管理

この章の内容は、次のとおりです。

- Cisco IMC ファームウェア，1 ページ
- ファームウェア コンポーネントの表示，2 ページ
- ファームウェアの更新，3 ページ
- ファームウェアのアクティブ化，5 ページ

Cisco IMC ファームウェア

Web UI の単一ページから次のファームウェア コンポーネントを管理できます。

- アダプタ ファームウェア：アクティブなイメージとバックアップ イメージで構成されている主要なオペレーティング ファームウェアで、次のような異なるインターフェイスからインストールできます。
  - ホスト アップグレード ユーティリティ（HUU）
  - Web UI：ローカルおよびリモートのプロトコル
  - PMCLI：リモート プロトコル
  - XML API：リモート プロトコル

  ファームウェア イメージをローカル ファイル システムまたは TFTP サーバからアップロードできます。
- ブートローダ ファームウェア：ブートローダ ファームウェアは、Cisco IMC からインストールできません。このファームウェアは、Host Upgrade Utility を使用してインストールできます。

次の個々のコンポーネントのファームウェアを更新できます。

- BMC

- BIOS
- CMC
- SAS エクスパンダ
- アダプタ

ハード ディスク ドライブ（HDD）のファームウェアは、上述のアダプタ ファームウェアと同じインターフェイスからインストールすることもできます。

ファームウェア コンポーネントの表示

手順

ステップ 1 [管理者（Admin）] メニューの [ファームウェア管理（Firmware Management）] をクリックします。

ステップ 2 [全般（General）] タブの [ファームウェア管理（Firmware Management）] 領域で、次の情報を確認します。

名前	説明
[更新（Update）] ボタン	ダイアログボックスが開き、ローカルマシンまたはリモート サーバで利用可能なファームウェア イメージ ファイルをインストールできます。
[アクティブ化（Activate）] ボタン	ダイアログボックスが開き、サーバでアクティブにする使用可能なファームウェア バージョンを選択できます。 **重要** ファームウェアまたは BIOS のアップデートが進行中の場合は、それらのタスクが完了するまで新しいファームウェアをアクティブにしないでください。
[コンポーネント（Component）] 列	ファームウェアを更新できる使用可能なコンポーネントのリスト。
[稼働バージョン（Running Version）] カラム	現在有効なコンポーネントのファームウェア バージョン。

名前	説明
[バックアップバージョン（Backup Version）] カラム	サーバにインストールされている別のファームウェア バージョン（存在する場合）。バックアップ バージョンは現在動作していません。これをアクティブにするには、[アクティブ化（Activate）] をクリックします。 （注） 新しいファームウェアをインストールすると、既存のバックアップ バージョンはすべて削除され、新しいファームウェアがバックアップ バージョンになります。サーバで新しいバージョンを実行するには、新しいファームウェアを手動でアクティブにする必要があります。
[ブートローダーのバージョン（Bootloader Version）] カラム	コンポーネントのブートローダ ソフトウェアに関連付けられているブートローダ バージョン。
[ステータス（Status）] カラム	このサーバのファームウェアのアクティブ化のステータス。
[進行状況 %（Progress in %）] カラム	操作の進行状況のパーセンテージ。

ファームウェアの更新

[ファームウェア管理（Firmware Management）] 領域から選択したコンポーネントに応じて、ローカル ディスクまたはリモート サーバからファームウェア パッケージをインストールできます。インストールを確認した後、BMC によってコンポーネントのバックアップ メモリ スロット内のファームウェア バージョンが選択したバージョンに置き換えられます。

手順

ステップ 1 [管理者（Admin）] メニューの [ファームウェア管理（Firmware Management）] をクリックします。

ステップ 2 [ファームウェア管理（Firmware Management）] 領域で、[コンポーネント（Component）] カラムからコンポーネントを選択し、[更新（Update）] をクリックします。
[ファームウェアの更新（Update Firmware）] ダイアログボックスが表示されます。

ステップ 3 ダイアログボックスで次の情報を確認します。

名前	説明
[ブラウザ クライアントによるファームウェアのインストール（Install Firmware through Browser Client）] オプション ボタン	ファームウェア パッケージがローカル マシンに存在する場合は、このオプション ボタンをクリックします。
[リモート サーバによるファームウェアのインストール（Install Firmware through Remote Server）] オプション ボタン	ファームウェア パッケージがリモート サーバに存在する場合は、このオプション ボタンをクリックします。

ステップ 4 ブラウザ クライアントを介してファームウェアをインストールするには、[参照（Browse）] をクリックし、インストールするファームウェア ファイルに移動します。

ステップ 5 ファイルを選択してから、[ファームウェアのインストール（Install Firmware）] をクリックします。

ステップ 6 リモート サーバを使用してファームウェアを更新するには、[ファームウェアのインストール元（Install Firmware from）] ドロップダウン リストからリモート サーバのタイプを選択します。次のいずれかを選択できます。

- TFTP
- FTP
- SFTP
- SCP
- HTTP

ステップ 7 選択するリモート サーバのタイプに応じて、サーバの [IP/ホスト名（IP/Hostname）] フィールドと [イメージ パスとファイル名（Image Path and Filename）] フィールドに詳細を入力します。ファームウェアをインストールすると、新しいイメージが非アクティブなイメージと置き換わります。イメージのインストール後、イメージをアクティブ化ができます。

重要 サーバのタイプが FTP、SFTP、または SCP の場合は、ユーザ クレデンシャルを入力する必要があります。

ステップ 8 [ファームウェアのインストール（Install Firmware）] をクリックして、ダウンロードとインストールを開始します。

ファームウェアのアクティブ化

手順

ステップ 1 [管理者（Admin）] メニューの [ファームウェア管理（Firmware Management）] をクリックします。

ステップ 2 [ファームウェア管理（Firmware Management）] 領域で、[コンポーネント（Component）] カラムからコンポーネントを選択し、[アクティブ化（Activate）] をクリックします。
[ファームウェアの有効化（Activate Firmware）] ダイアログボックスが表示されます。

ステップ 3 [ファームウェアのアクティブ化（Activate Firmware）] ダイアログボックスで、アクティブにするファームウェアイメージ（オプションボタン）を選択します。このイメージが稼動バージョンになります。

ステップ 4 [ファームウェアの有効化（Activate Firmware）] をクリックします。
選択したファームウェア イメージに応じて、アクティブ化のプロセスが開始されます。

重要 アクティベーションの進行中には、次のことは行わないでください。

- サーバのリセット、電源オフ、またはシャットダウン。
- BMC のリブートまたはリセット
- 他のファームウェアのアクティブ化。
- テクニカル サポートまたは設定データのエクスポート。